

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 有害鳥獣捕獲許可業務	申請書の提出を受け、捕獲を許可する。	許可件数	件	38	68	57	50
② 有害鳥獣被害防護施設整備事業	防護施設を購入に対し、補助金を交付する。	補助金交付件数	件	59	47	57	50
③ 有害鳥獣被害対策業務	年間を通じた有害鳥獣の捕獲を委託する。	委託期間	日	365	365	365	365
④ 市鳥獣被害防止対策協議会業務	対策検討会議の開催、猟具の貸与等	貸与猟具数	個	37	55	72	72
⑤ 有害鳥獣猟具管理業務	年間を通じた有害鳥獣の捕獲活動用に隊員へ貸与	貸与猟具数	個	50	55	65	72

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	
1 防護施設整備延長	申請された防護施設総延長	m	15,000	15,000	15,000	15,000
			24,080	11,541	13,500	
2 有害鳥獣捕獲頭数	有害鳥獣(イノシシ)の捕獲頭数	頭	400	400	400	600
			280	551	698	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	有害鳥獣による農作物等の被害が拡大する。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	防護施設整備の申請数が少なかったため。
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	突発的に発生する有害鳥獣を捕獲する捕獲隊・予備隊員の鳥獣捕獲確認業務に多くの時間を費やすことから、民間委託で行うことにより業務の効率性の向上が見込まれる。
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	有害鳥獣を捕獲する捕獲隊・予備隊員の鳥獣捕獲確認業務の方法改善を図ったものの、さらなる業務の効率化を図るために民間委託を実施することを検討していく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	捕獲した鳥獣の確認業務の方法を改善し、業務時間の短縮を図った。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	有害鳥獣の増加により、農作物の被害が増加及び広範囲になる中、農作物のみならず人的被害も懸念されており、対策の継続が求められている。	評価責任者 本山 武志
------------------	---	----------------